

日本国際政治学会 2016 年度研究大会分科会プログラム

本プログラムは、2016 年 8 月 26 日現在の暫定版です。最終的なプログラムは大会当日に配布いたしますのでご了承ください。プログラムに関するお問い合わせは、分科会代表幹事（望月康恵：ymochizuki★kwansei.ac.jp（★をアットマークに換えてください））までお願いいたします。

◆10 月 14 日（金）

分科会セッション A（15:45～17:15）

- A-1 日本外交史 I** 責任者 熊本 史雄（駒澤大学）
テーマ 韓国併合の諸問題
司会 熊本 史雄（駒澤大学）
報告 李 盛煥（啓明大学校）
「日露戦争期の韓国新聞の分析：当時の韓国人に日露戦争はどのように受け取られたのか？」
稲葉 千晴（名城大学）
「軍事史から見た日本による韓国占領 1904 年 2 月」
討論 平山 龍水（東京国際大学）
ヤロスラフ・シュラトフ（広島市立大学）
- A-2 東アジア国際政治史／東アジア I** 責任者 阿南 友亮（東北大学）／加茂 具樹（慶應義塾大学）
テーマ ポスト冷戦期の東アジア：武器輸出をめぐる国際政治
司会 浅野 亮（同志社大学）
報告 伊藤 弘太郎（中央大学）
「冷戦後の韓国の防衛産業：防衛装備品輸出拡大への過程」
田中 慎吾（大阪大学）
「オバマ政権の対東アジア核外交：核燃料再処理技術問題を中心に」
土屋 貴裕（慶應義塾大学）
「中国の軍備管理・不拡散政策と武器輸出」
山口 航（同志社大学）
「武器輸出三原則の見直しと規範」
討論 浅野 亮（同志社大学）
佐藤 丙午（拓殖大学）

- A-3 欧州国際政治史・欧州研究 I** 責任者 広瀬 佳一（防衛大学校）
- テーマ 欧州の核をめぐる諸問題
- 司会 広瀬 佳一（防衛大学校）
- 報告 小川 健一（防衛大学校）
- 「冷戦期の欧州戦術核—NATO 核計画部会における暫定指針の策定過程の解明」
- 小島 真智子（名古屋商科大学）
- 「WMD 拡散問題をめぐる米仏間の政策一致への動向：仏国側のプラグマティズムかパラダイムシフトか」
- 討論 梅本 哲也（静岡県立大学）
- 新垣 拓（防衛研究所）
-
- A-4 アフリカ** 責任者 加茂 省三（名城大学）
- テーマ アフリカにおける安全保障の諸相
- 司会 加茂 省三（名城大学）
- 報告 神宮司 覚（防衛研究所）
- 「アフリカにおける安全保障環境の変化と軍の適応—進展と課題—」
- 杉木 明子（神戸学院大学）
- 「アフリカにおける海賊行為の処罰と「地域訴追モデル」—ソマリア沖海賊問題の事例から—」
- 討論 落合 雄彦（龍谷大学）
-
- A-5 理論と方法 I** 責任者 鈴木 一敏（広島大学）
- テーマ 実証手法の融合
- 司会 鈴木 一敏（広島大学）
- 報告 岩波 由香里（大阪市立大学）
- “Aid Allocation and Burden-Sharing”
- 大石 晃史（東京大学）
- 「紛争主体の分裂統合に対するネットワーク分析：コンゴ内戦を例に」
- 伊藤 岳（富山大学／人間文化研究機構）
- “How Do You Strike Me? Decomposing the Determinants of Selective and Indiscriminate Violence in Civil Conflicts”
- 討論 大森 佐和（国際基督教大学）
- 山本 和也（平和・安全保障研究所）

- A-6 国連研究** 責任者 望月 康恵 (関西学院大学)
- テーマ 国連の組織と機能の再検討—国連創設 70 周年を迎えて
- 司会 本多 美樹 (早稲田大学)
- 報告 チュイ・デンプン (桐蔭横浜大学)
「国連改革論の新しいモデル」
水谷 元海 (名古屋大学)
「『任意的経済制裁』の誕生と発展—経済制裁を勧告する安保理の権限について—」
- 討論 渡部 茂己 (常磐大学)
真嶋 麻子 (津田塾大学)
- A-7 若手研究者・院生研究会** 責任者 赤川 尚平 (慶應義塾大学)
- テーマ 「国際関係における日本の議会政治—関係と比較の観点から」
- 司会 松寄 英也 (上智大学)
- 報告 伊東 かおり (九州大学)
「帝国議会とカーネギー国際平和財団—第一次世界大戦後の列国議会同盟日本議員団再組織を巡る通信員宮岡恒次郎の活動を中心に」
高島 亜紗子 (東京大学)
「歴史問題と政党政治 - 日独民主主義の比較」
- 討論 中村 登志哉 (名古屋大学)
三牧 聖子 (関西外国語大学)

分科会セッション B (17:30~19:30)

- B-1 日本外交史Ⅱ (使用言語:英語)** 責任者 熊本 史雄 (駒澤大学)
- テーマ Aborted Liberal International Vision in Japan before 1945
- 司会 猪口 孝 (新潟県立大学)
- 報告 猪口 孝 (新潟県立大学)
“Shigeru Nambara (1889-1974): How a Japanese Liberal Conceptualized Eternal Peace in 1918-1951”
John Ikenberry (Princeton University)
“The Wages of Modernity: The Origins of Liberal Internationalism and the Wilsonian Moment”
原田 泰 (日本銀行)
“Formation and Collapse of a Vision for the Liberal International Order

during the Interwar Period in Japan”

中野 涼子 (金沢大学)

“Yanaihara Tadao’s Liberal Internationalism and Colonial Economic Development”

討論 木畑 洋一 (成城大学)

B-2 東アジア II (使用言語: 英語) 責任者 加茂 具樹 (慶應義塾大学)

テーマ Assessing Military Reform in China - Drivers, Processes, and Implications

司会 林 載桓 (青山学院大学)

報告 林 載桓 (青山学院大学)

“A Political Logic of Military Reform: The Case of China”

Joel Wuthnow (National Defense University)

“Looking Inside PLA Organizational Reforms”

山口 信治 (防衛省防衛研究所)

“Evolution of the military reform of China”

討論 飯田 将史 (防衛省防衛研究所)

B-3 中東 責任者 辻上 奈美江 (東京大学)

テーマ 中東地域の新しい安全保障パラダイム

司会 辻上 奈美江 (東京大学)

報告 中西 久枝 (同志社大学)

「イラン核合意と中東域内政治-核問題の脱安全保障化を中心に」

佐藤 麻理絵 (日本学術振興会)

「二層化するヨルダンの難民受け入れ: 国際難民レジームへの挑戦」

土佐 弘之 (神戸大学)

「R2P のメルトダウン: 国連安保理決議 1973 以後」

討論 末近 浩太 (立命館大学)

B-4 理論と方法 II 責任者 鈴木 一敏 (広島大学)

テーマ 国際政治のモデル化と理論化

司会 石黒 馨 (神戸大学)

報告 政所 大輔 (神戸大学)、赤星 聖 (日本学術振興会)

「コンストラクティビズム研究の先端—原点回帰と政治性の回復」

堀内 めぐみ

「国際関係理論における西田幾多郎の位置づけ—文化の観点から」

田沼 彬文 (東京大学)

- 「武力行使の威嚇と国際合意——湾岸戦争・イラク戦争を事例に」
土井 翔平（京都大学）
「商業的平和論と内生的な相互依存」
湯川 拓（大阪大学）
小浜 祥子（北海道大学）
- B-5 安全保障 I** 責任者 鶴岡 路人（防衛研究所）
テーマ 紛争解決研究と安全保障研究の相克
司会 杉田 米行（大阪大学）
報告 酒井 英一（関西外国語大学）
「ニーズとパワー——平和と安全保障の概念上の比較研究」
長谷川 晋（関西外国語大学）
「非国家主体研究から見た紛争解決研究と安全保障研究の接点」
香川 めぐみ（大阪大学）
「対テロ戦争と内戦の力学——国際関係論と紛争解決論の相克」
上杉 勇司（早稲田大学）
古澤 嘉朗（広島市立大学）
- B-6 国際政治経済** 責任者 和田 洋典（青山学院大学）
テーマ 経済政策過程の比較地域分析
司会 和田 洋典（青山学院大学）
報告 河越 真帆（神田外語大学）
「地域統合と航空自由化——EU と ASEAN の事例」
鈴木 弘隆
「日米英の経験に学ぶ ECB の量的緩和(QE)と EU 域内格差」
徐 博晨（東京大学）
「国際開発規範を巡る対立と収束——貧困削減戦略文書を例に」
富田 晃正（明治学院大学）、藤田 将史（東京大学）
「議員の投票行動を規定するのは物質的利益か？非物質的利益か？——ティー
パーティー議員の通商選好を巡る一考察」
鈴木 一人（北海道大学）
岡本 次郎（下関市立大学）
- B-7 国際交流／欧州国際政治史・欧** 責任者 飯森 明子（常磐大学） / 広瀬
州研究 II（使用言語：英語） 佳一（防衛大学校）
テーマ Refugees and Immigrants: Memory Inheritance in 20th Century

- Euro-Japanese Relations
 司会 飯森 明子 (常磐大学)
 報告 A. Simonas Strelcovas (Siauliai University)
 “The Phenomena of Past and Memory: Chiune Sugihara’s Activities in Lithuania 1939-40”
 Shiraishi Masaaki (Diplomatic Archives)
 “Current Trends and Issues in the Studies on Chiune Sugihara: At the Beginning of the Third Stage”
 Kawakita Atsuko (Chuo University)
 “Transformation of Historical Memory in Changing International Situations: Population Transfer in 20th Century Europe and Its Narratives”
 討論 伊東 孝之 (早稲田大学)
 高尾 千津子 (東京医科歯科大学)

- B-8 平和研究 I** 責任者 佐藤 史郎 (大阪国際大学)
 テーマ 平和の逆説—「保護する責任」論と「普通の国家」論の再検討
 司会 佐藤 史郎 (大阪国際大学)
 報告 志村 真弓 (東京大学)
 『「保護する責任」基準論における介入手段論争—2011年以降のシリア・中東情勢を中心に』
 曹 三相 (中央大学)
 「普通の国への道:日本とドイツ」
 討論 高橋 良輔 (青山学院大学)
 小松 志朗 (山梨大学)

◆10月15日(土)

分科会セッションC (13:30~15:00)

- C-1 欧州国際政治史・欧州 III** 責任者 広瀬 佳一 (防衛大学校)
 テーマ 欧州諸国の安全保障文化の論点と比較研究
 司会 渡邊 啓貴 (東京外国語大学)
 報告 福田 耕治 (早稲田大学)
 「EU安全保障・防衛協力のガバナンスと戦略文化研究」
 森井 裕一 (東京大学)
 「現代ドイツの安全保障文化—連邦軍と社会の関わりを中心として」

- 渡邊 啓貴（東京外国語大学）
「安全保障・戦略文化研究動向とフランス」
- 討論 佐々木 卓也（立教大学）
坂井 一成（神戸大学）
- C-2 ロシア・東欧** 責任者 小森 宏美（早稲田大学）
- テーマ 関係性の中の地域
- 司会 柑本 英雄（実践女子大学）
- 報告 齋藤 竜太（筑波大学）
「旧ソ連中央アジアに対する援助活動と規範—水利用者組合の事例から—」
大西 富士夫（日本大学）
「北極協調体制の成立と展開」
久保 慶一（早稲田大学）
「セルビアにおける分裂とねじれ—戦争責任問題をめぐる政治の動態」
- 討論 東野 篤子（筑波大学）
柑本 英雄（実践女子大学）
- C-3 東南アジア** 責任者 板谷 大世（広島市立大学）
- テーマ 自由論題
- 司会 田村 慶子（北九州市立大学）
- 報告 木村 友彦
「東ティモール軍事併合問題とオーストラリア外交：インドネシアとの関係と
民族自決原則の間のフレーザー政権の葛藤」
鈴木 陽一（下関市立大学）
「シンガポール共和国の建国について—人民行動党政府とイギリス帝国、
1963-1966年—」
- 討論 松野 明久（大阪大学）
板谷 大世（広島市立大学）
- C-4 ラテンアメリカ** 責任者 岡部 恭宜（東北大学）
- テーマ キューバ問題—日本、米国、スペインとの関係
- 司会 岡部 恭宜（東北大学）
- 報告 細田 晴子（日本大学）
「冷戦期のスペイン・キューバ関係」
ロメロ・イサミ（帯広畜産大学）
「1950年代の日本の対ラテンアメリカ政策におけるキューバの重要性」

上 英明 (神奈川大学)
「暴力をめぐる政治——米・キューバ関係とカリブ海のテロリズムについて」
討論 西田 竜也 (広島市立大学)

C-5 安全保障 II 責任者 鶴岡 路人 (防衛研究所)
テーマ 同盟の形成と崩壊
司会 鶴岡 路人 (防衛研究所)
報告 佐竹 知彦 (防衛研究所)
「日豪安全保障協力の起源——冷戦後の国際秩序認識の共有」
玉水 玲央 (早稲田大学)
「盟邦による同盟の規約違反をめぐる新モデルの分析——『ANZUS 危機』
(1985年)を事例に」
討論 石川 卓 (防衛大学校)
鶴岡 路人 (防衛研究所)

C-6 政策決定 責任者 吉崎 知典 (防衛研究所)
テーマ 政府開発援助 (ODA) 決定における規範と実践
司会 吉崎 知典 (防衛研究所)
報告 金 孝淑 (関西外国語大学)
「拒否権プレイヤーと貧困削減のための国際協力—なぜ規範の実施はドナー国
によって異なるのか」
竹澤 理絵 (一橋大学)
「日本の開発援助政策における技術協力—政策決定要因の考察」
討論 稲田 十一 (専修大学)
道下 徳成 (政策研究大学院大学)

C-7 トランスナショナル 責任者 明石 純一 (筑波大学)
(使用言語:英語)
テーマ Universality of Non-Inclusive Migration Policy?: From the Perspective of “Neo-Plural
Society”
司会 Horinuki Koji (The Institute of Energy Economics, Japan)
報告 Matsuo Masaki (Utsunomiya University)
“Ethnocracy in the Arab Gulf States: Non-inclusive Migration Policy in
Rentier States”
Asato Wako (Kyoto University)
“Neo-Plural Society from the Perspectives of Intersection between

Migration and Welfare Regime: Cases from Gulf Countries”

討論 Ishii Yuka (University of Shizuoka)

C-8 ジェンダー 責任者 森田 豊子 (鹿児島大学)

テーマ イスラームとジェンダー

司会 森田 豊子 (鹿児島大学)

報告 大形 里美 (九州国際大学)

「インドネシアにおけるイスラームとジェンダー—可視化されるイスラーム思想の地域格差と多様性」

細谷 幸子 (東京外国語大学)

「イランの『治療的人工妊娠中絶法』の施行をめぐる倫理的議論」

討論 中西 久枝 (同志社大学)

C-9 環境 責任者 毛利 勝彦 (国際基督教大学)

テーマ 多国間環境協定をめぐる国際交渉と制度化

司会 毛利 勝彦 (国際基督教大学)

報告 舩方 周一郎 (神田外語大学)

「気候変動パリ協定とラテンアメリカ諸国の多国間交渉」

古賀 真希 (東京工業大学)

「気候変動ガバナンスにおける「断片化」に関する一考察—2013年以降の国際枠組みをめぐる交渉を事例として」

宇治 梓紗 (京都大学)

「水銀に関する水俣条約における三位一体の実現」

討論 沖村 理史 (島根県立大学)

大久保 彩子 (東海大学)

宮崎 麻美 (熊本学園大学)

◆10月16日(日)

分科会セッションD (13:15~14:45)

D-1 欧州国際政治史・欧州研究IV 責任者 広瀬 佳一 (防衛大学校)

テーマ 欧州におけるマイノリティ保護をめぐる

司会 広瀬 佳一 (防衛大学校)

報告 山川 卓 (立命館大学)

「現代クロアチアのマイノリティ保護をめぐる：ネイション化＝ヨーロッパ

化試論」

玉井 雅隆 (立命館大学)

「『保護されない』マイノリティと OSCE、欧州審議会—ロマ保護枠組とその限界」

討論 小久保 康之 (東洋英和女学院大学)

林 忠行 (京都女子大学)

D-2 アメリカ政治外交 I 責任者 倉科 一希 (広島市立大学)

テーマ ラウンド・テーブル「グローバル化と冷戦—1960年代後半から70年代初頭にかけての西側の経済・安全保障ダイナミズム」

パネリスト アメリカ 水本 義彦 (獨協大学)、森 聡 (法政大学)

ヨーロッパ 青野 利彦 (一橋大学)

中東 小野沢 透 (京都大学)

西ドイツ 妹尾 哲志 (専修大学)

日本 中島 琢磨 (龍谷大学)

モデレーター 森 聡 (法政大学)

ーター

D-3 国際統合 (使用言語:英語) 責任者 中村 英俊 (早稲田大学)

テーマ European Integration at a Crossroads

司会 Hidetoshi Nakamura (Waseda University)

報告 Richard G. Whitman (Chatham House and University of Kent)

‘Brexit: the End of Normative Power Europe?’

Paul Bacon (Waseda University)

‘The Dangers of EU’s Self-Identification as a Normative Power’

Shunsuke Sato (Université libre de Bruxelles)

‘The European Union in the Refugee Crisis : Reconfiguring its Borders’

討論 Atsuko Higashino (University of Tsukuba)

D-4 安全保障III 責任者 鶴岡 路人 (防衛研究所)

テーマ NSC、国家安全保障戦略と日本の安全保障——歴史と国際比較

司会 鶴岡 路人 (防衛研究所)

報告 千々和 泰明 (防衛研究所)

「国家安全保障会議 (NSC) と国家安全保障局 (NSS) ——日本における内閣安全保障機構の過去と現在」

三宅 浩介 (偕行社)
「日、英、豪の国家安全保障戦略の比較研究」
討論 松田 康博 (東京大学)
細谷 雄一 (慶應義塾大学)

分科会セッションE (15:00~16:30)

E-1 日本外交史Ⅲ 責任者 熊本 史雄 (駒澤大学)
テーマ 国際環境の変動と日本外交―戦前と戦後―
司会 熊本 史雄 (駒澤大学)
報告 佐々木 雄一 (東京大学)
「近代日本外交の論理転換―日英同盟交渉過程を中心に―」
塚本 英樹 (法政大学)
「日本外交における勢力圏の主張―日露戦争後の中国大陸進出の論理―」
山本 章子 (沖縄国際大学)
「デタント崩壊と大平外交―インドシナ政策を中心に―」
討論 片山 慶隆 (関西外国語大学)

E-2 アメリカ政治外交Ⅱ 責任者 倉科 一希 (広島市立大学)
テーマ 自由論題
司会 西山隆行 (成蹊大学)
報告 松本 明日香 (日本国際問題研究所)
「米大統領予備選挙党内討論会の歴史的変遷と現在―2016年外交論争を中心に―」
溝口 聡 (立教大学)
「戦後文化政策と東アジア冷戦―1950年代アメリカ占領期の沖縄冷戦教育―」
松本 佐保 (名古屋市立大学)
「大統領選挙と宗教票―歴史的考察を踏まえて―」
討論 西山 隆行 (成蹊大学)
川上 耕平 (西南女学院大学)

E-3 平和研究Ⅱ 責任者 佐藤 史郎 (大阪国際大学)
テーマ 紛争解決・平和構築をめぐる多層的セキュリティ・ガバナンスの探求
司会 足立 研幾 (立命館大学)
報告 片柳 真理 (広島大学)

「紛争地におけるローカル・セキュリティ・ガバナンスの形成」

中内 政貴（大阪大学）

「旧ユーゴスラヴィア諸国におけるセキュリティ・ガバナンス—国際アクター
と現地アクターとの同床異夢」

山根 達郎（広島大学）

「アフリカにおける国連・EU・AU間セキュリティ・ガバナンスの統合と交錯」

討論

足立 研幾（立命館大学）